

安全と衛生の講演会のご案内

2010年11月25日

尼崎労働者安全衛生センター

議長 松原 保

寒さの厳しい季節となりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

9月の総会で「精神障害関係の療養・休業者は尼崎安全センター加入労組においても現実的な問題となりつつあります。今まで以上にメンタルヘルスの取組みを強化していきます。」という活動方針が確認されました。その方針に沿って今回用意させて頂いた講演会では、以下のような具体的なテーマに沿ってお話をしていただきたいと思っております。

- 心の病気や自殺がなぜ増え続けるのか
- 職場の人たちの“心の変調”のきざしをどう見つけるか
- うつ病での休職をだれが判断するのか
- 休職中の患者への会社や労組の関わり（家族も含めて）
- 職場復帰はだれが決める？復職の具体的な進め方
- 現場復帰した労働者への周囲のつきあい方
- 療養期間の経済問題

組織の内外を問わず、多数のご参加をお待ちしております。

【と き】12月20日（月）午後6時～8時

【テーマ】「心の“変調”のきざしをどう見つけるか」

【講師】大脇 多美代 先生

（大阪産業保健推進センターメンタルヘルス対策相談員）

【ところ】尼崎市立労働センター

TEL06（6482）6180

連絡先 事務局 塩見・飯田まで

TEL&FAX:06-4950-6653